

事業所名

音のはびねす宮崎・音のはびねすうみ

支援プログラム

作成日

令和6年8月1日

法人（事業所）理念	mission 障がいのある人が幸せに生活できる社会の実現 vision 福祉業界で次のスタンダードを確立する value 制度の枠を超えた関わり合い		
支援方針	①【音でつながる、人、社会】音楽を通して、楽しみながら社会の中での集団生活のことや、人との関わりを身につけられるような支援 ②【きらめく個性の解放】個々の持っている力を伸ばしたり、様々なことに挑戦していける姿勢を身につけていくための支援		
営業時間	【平日】10:00~19:00 【土曜・長期休暇】8:00~17:30	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	『オリジナル体操』で体幹とバランス感覚を高め、発語しながら体を動かすことで気持ちの発散もでき情緒の安定にもつながります。	
	運動・感覚	『リトミックボール』バランスボールに乗って発語しながらバウンドしたり模倣します。＜曲を聴く→考える→行動する＞という「即時反応」により、脳へ刺激を与え、体勢を維持することで筋力やバランス感覚を高めることを目的としています。『リトミック』で曲に合わせて表現をする即時反応を行うことで、思考力・想像力・表現力を高めると共に、体を大きく動かしながら運動機能を向上させることを目的としています。	
	認知・行動	『絵描き歌』で歌を歌いながら絵を描く造形リトミックです。歌に合わせて絵を描くことで即時反応の向上や、職員の描いたものを描くことにより模倣力も養われます。	
	言語 コミュニケーション	『オープニングセッション』でピアノとドラムに合わせて「自分の名前をリズムに合わせてはっきりと言う」「簡単な質問に答える」等の言語を引き出すを目的としています。また療育の流れを掴むために視覚的な情報として写真を用いてプログラム紹介することで、見通しをつけやすくし情緒の安定をはかる工夫をしています。『発声・歌』で言葉をはっきり言えるように言語の練習も兼ねています。歌詞の音読を行い、言葉の明瞭化をはかる。「お話」の時間を設け歌詞の内容を理解できるように文字や絵などの視覚的な情報を用いて内容を想像できるように工夫しています。『エンディングセッション』でお名前呼びや簡単な質問・早口言葉ならぬ遅口言葉などで言語を引き出すことも目的としています。	
	人間関係 社会性	『音楽サーキット』で音楽に合わせたサーキットの手順を模倣から理解につなげ、知育コーナーでは簡単な問題をクイズ形式で行っています。二人一組の場合はボールの受け渡しやリズム遊びを一緒に行い協調性を身に付け、楽しみながら順番を待つことで多動を軽減する目的としています。『リズムあそび』でピアノに合わせて決められたリズムを演奏します。自分の演奏する場に集中し注目されることで達成感を得る事や他者と合わせて演奏する協調性を養うことを目的としています。	
家族支援	毎年療育参観・懇談会を実施し、支援を見る機会を設けたり、保護者同士で交流や意見交換ができるようにしています。また、こまめに支援の様子をお便りやSNSで発信しています。	移行支援	支援上の課題がある場合は、担当者会議やケース会議を開催しています。また、ライフステージを見据えて、ステップアップのための他事業所への移行も支援しています。
地域支援・地域連携	地域のお祭りに参加したり、地域の公共施設でイベントを開催し、地域住民との交流を図っています。放課後等デイ協議会に参加し、学校や事業所と研修を行ったり、事業所交流をして互いの支援力向上に努めています。	職員の質の向上	事業所内では、障がいの特性や支援に関する勉強会を定期的実施しています。また、会社全体で支援力向上委員会を毎月1度全事業所で勉強会を開催しています。社外の研修の機会も多く設けています。
主な行事等	音のはびねす川越と宮崎でオンライン交流会を行って互いの事業所の児童との交流も深めています。社内全体でイベントを開催し、福祉に関する講演会や音楽会などを通して地域の方を招いています。また、季節に応じた歌やリトミックを活動に取り入れたり、外の活動で季節を感じる活動を取り入れています。 ※資料を添付 お便り		